

「里山ボランティア」

秋保市民センター

1 事業概要

令和元年度から令和3年度の複数年度にわたって実施した事業です。秋保地域の里山や史跡などの地域財産や地域資源を地域住民自らの手での整備し、課題解決を目的としています。

秋保地域では豊かな自然を活かした里山文化が営まれていましたが、近年の高齢化や生活環境の変化によって、里山の環境維持には様々な課題が生じている状況であります。

この課題解決のため、令和元年度には里山を守っていくために必要な知識と技術を習得する安全講習会を開催しました。造園土木講師から刈払機やチェーンソーの正しい使い方、作業をする際の注意点などを専門家の視点から講話と実技指導をしていただきました。

令和2年度には馬場地区にある旧小滝沢橋（めがね橋）での整備活動とその周辺の自然環境について学びました。実際にめがね橋での環境整備を行いながら、地域の文化的財産に触れることで、その関心や理解をより一層深めることができました。

2 今年度の活動

令和3年度は、馬場北山千本桜での環境整備を通して、その文化的価値と後世に残していくために何が必要なのかを学びました。

馬場北山千本桜は、平成22年に地域住民有志が千数百本の桜を植樹し、守り育ててきたものであります。秋保の新たな観光資源としても住民が期待しており、今後の地域財産として育てたいとも考えています。11月に馬場駅町内会と1回目の環境整備を実施し、桜の木の周りの雑草や雑木の刈払いを行うとともに馬場北山千本桜の現況について学びました。12月には造園土木講師の指導の下、樹木を守り育てる技術的なポイントを学びました。

3 成果と課題

実際に旧小滝沢橋（めがね橋）や馬場北山千本桜での環境整備を行いながら、地域の文化的財産に触れることで、その関心や理解がより一層深まりました。地域財産の環境が良くなっていくことは受講者にとって達成感を感じられることであり、地域財産や地域資源を住民の手で守っていこうとする意欲の高まりがみられました。

4 今後の展望

本事業は3か年計画のため今年度で事業終了となりますが、今後も地域住民と市民センターとで連携・協力しながら、地域財産や地域資源を守っていくことができるように支援していきます。

【R1 安全講習会】



【R2 旧小滝沢橋（めがね橋）を未来につなげよう】



【R3 馬場北山千本桜について学び、活かそう】

